

トドマツ・エゾマツ林内の蟻類

(河野—トドマツ・エゾマツ類の害蟲調査報告 第17報)

河野 廣道・杉原 勇三

(北海道帝國大學農學部昆蟲學教室)

[DIE FORMICIDEN IM TANNEN- UND  
FICHTENWALD IN JAPAN

Von

HIROMICHI KÔNO und YUZÔ SUGIHARA]

筆者の1人河野は財團法人服部報公會より研究費の補助を得て、トドマツ・エゾマツ類の害蟲の研究に従事して居るが、蟻類に関する研究は、杉原と共同にて行つた。その結果、今日迄に、樺太及び北海道に於けるトドマツ・エゾマツ林内に棲息する蟻類17種を發見し、その林業的關係の大略を調査することを得た。

爰に研究費の1部を補助せられたる服部報公會に深謝の意を表する次第である。

1. *Formica (Formica) rufa* LINNAEUS

カラフトアカヤマアリ (新稱)

林内の空地に多い。大きな蟻塚を造るので著名である。蟻塚は落葉、枯草等を以て造營せられ、高さ0.5乃至0.7米に達する大きなものがある。毛蟲類その他の害蟲を捕食して有益であるが、他面

*Cinara longipennis* (MATSUMURA) ハネナガオホアブラ

*C. todocolus* (INOUE) トドマツオホアブラ

*Todolachnus abietis* MATSUMURA トドミドリオホアブラ

等の蚜蟲を保護して有害である。

樺太、北海道に普通な種である。

2. *Formica (Raptiformica) sanguinea fusciceps* EMERY

アカヤマアリ

林内の空地や林縁に多い。前種同様蟻塚を造るが、塚は前種のそれに比して